

Summer 2017  
Volume 8, Issue 1

# 和 Central Harmony

Tri-Annual Newsletter of Central Japanese-American Community Church of SDA

## Mochitsuki Festival January 15, 2017



**Address:**  
2113 East Villa Street  
Pasadena, CA 91107

**Phone:**  
(626) 304-7800

**Questions/Comments:**  
[harmony@centraljapanese.org](mailto:harmony@centraljapanese.org)

**PR/Communication Staff:**  
Keiko Takeda  
Mika Aoki

**Contributing Writers:**  
Pastor Nakagawa  
Associate Pastor Shinasue  
Dennis Hokama  
Mutsumi Nakagawa  
Darlene Mizumoto

We're on the Web!

See us at:

[www.centraljapanese.org](http://www.centraljapanese.org)



## 「行って、見よ」前篇

私は、アドベンチスト家庭で生まれ育ちました。クリスチャン人口が約1%の日本にあって、クリスチャン家庭で生まれ育つことができたのは大変な祝福でした。小・中・高・大とアドベンチストの系列校に通いましたし、それこそ母の胎に在る時から毎土曜日教会に行っていました。そんな私にとって、神様が存在するのは当たり前のことでしたし、聖書が「神の言葉」であるのは当然のことでした。生まれてこの方、神の存在を疑ったことはありません。三食の前に祈るのは習慣でしたし、それに対して嫌悪感を抱いたこともありませんでした。11歳になった時、私はバプテスマを受けました。私は、私の信仰に「自信」を持っていましたし、何の疑問も持っていませんでした。しかし、そんな私も、一人の友人との出会いにより、全く思いもしなかった道を歩むことになるのです。

私とその友人が出会ったのは北浦三育中学校でした。彼は、2年生のときに転入してきました。ずっとクリスチャンに囲まれ育ってきた私にとって、全くクリスチャン背景の無い彼は特異な存在でした。多くの日本人同様に、彼はこれといった宗教に傾倒していませんでした。信仰を共有してはいませんが、私たちは良き友となりました。中学卒業後、私たちは共に広島三育学院高校に進学しました。そこで私は、彼にバプテスマを受けてほしいという思いを抱きました。理由は単純です。イエス様が再び来られたとき、私は彼と共に天国に入りたかったのです。高校を卒業したら別々の道を歩むのは分かっていたので、卒業が近づくにつれてその思いはどんどんと強くなっていきました。

そこで私は、彼に霊的な事柄や私の信仰を伝えようとしてしましました。しかしそこで、私は重大なことに気が付きました。私は自分の信仰が何なのか、良く分かっていなかったのです。私はイエス様を個人的に知りませんでした。私が聖書を信じ、セブンスデー・アドベンチスト教会に通い続けたのは、私の生まれ育った環境によるものだったのです。私のものだと思っていた信仰は、私の家族や先生のものだったのです。私にとって当たり前のもを彼に説明するのは至難の業でした。それで私は高校卒業後、サザン・アドベンチスト大学に入学し、神学科を専攻することにしました。（私は、牧師になりたいだなんて一度も思ったことはありません！）私はただ、このアドベンチスト信仰を勉強し、その真意を見極めたかったのです。こうして私は、2011年にサザン・アドベンチスト大学に入学しました。

「わたしを尋ね求めるならば見いだし、心を尽くしてわたしを求めらば、わたしに出会うであろう」という約束が、真実であるかを確かめるために（エレミヤ書 29:13, 14）。

## Go... and Behold, Pt. 1

I was born and raised in an Adventist family. In Japan, where the Christian population is about 1% of the whole population, I was surely blessed to be born into a Christian family. I grew up going to Adventist churches and Adventist schools. I have been going to the church since I was in my mother's womb. Thus, for me, God has been always there and the Bible has always been the word of God. I have never doubted God's existence. Church and prayer has been a part of my life, and I had no problem with that. At the age of 11, I was baptized. I was satisfied with my faith, and I had no question or doubt. However, this one particular friendship with this one particular person changed the whole course of my life.

I met him when we were in Junior High School. He was a transfer student and had no Christian background. Since it was an Adventist school, most people who surrounded me came from a Christian background; yet he was different. He was peculiar to me. He had no particular faith: typical Japanese nowadays. We became good friends despite the faith difference. Both of us went onto the same Adventist High School. There my desire for him to be baptized grew. As the graduation got closer and closer, my desire grew intensely for I knew that we would take different paths after graduation. I just wanted to see him again in the kingdom to come. That was the sole, simple reason for me to wish that he would accept Christ and be baptized.

Thus, I began to converse about spiritual matters and share my faith. But then I realized at the moment that I did not really know what I was sharing. I did not really know what my faith was, or who Jesus was. I did not know why I believed in the God of the Bible other than the fact that I grew up in such an environment. At that point, I learned that I knew almost nothing about the Bible and Seventh-day Adventist Church. And that was why I decided to study theology. It was not because I wanted to become a pastor. I just wanted to know whether the faith that has been passed onto me by my parents was worth hanging on to or not.

Therefore, in 2011 after graduating from high school, I went to Southern Adventist University.

I embarked on a journey to find out the truth about this promise that everyone knows: "You will seek me and find me when you seek me with all your heart" (Jeremiah 29:13).

# Introducing our new Pastoral Staff

2016 年夏より、CJACC へ中川中牧師と睦美夫人、副牧師の品末拓真が赴任されました。彼らにインタビューをしました。

ご自身と家族を紹介して下さい。

**中川牧師:** わたしは三人兄弟の末っ子として中川家に生まれ、少年時代までを京都で過ごしました。現在の妻とは、当時千葉県にあったアドベンチストの高等学校で知り合いました。但し、その当時、ほとんど話したことがなかったのですが、イギリスのニューボールドカレッジに在学中に、文通を始めたのをきっかけにお付き合いをするようになり、1985 年の 8 月 25 日に結婚しました。息子の良は翌年の 7 月に誕生しました。現在、息子は日本で仕事をみつけて、新しい人生を出発しています。

**睦美夫人:** 名前は横溝幸雄牧師につけていただきました。福島県会津若松市出身です。姉が一人と、91 歳になる両親が日本におります。

**品末副牧師:** 品末家は、父、母、祖母、妹、私の 5 人家族です。横浜市在住です。父は日本の教団にて、母はシャローム横浜にて働いております。祖母とは昨年より同居しております。妹は来たる 3 月に大学を卒業して、三育フーズに就職する予定です。

セントラル教会にいらっしゃる前はどちらで何をしていたらっしゃいましたか？

**中川牧師:** こちらに来るまでは、カナダにあるトロント日系教会で 14 年間牧師の働きをしていました。一つの教会だけ責任を持っていましたから、ほとんど毎週説教をしていました。このように英語部と日本語部には分かれていませんので、わたしが通訳者の為に日本語と英語の説教の原稿を書かなくてはなりませんでした。

**睦美夫人:** トロント日系教会にて駆け回る毎日を過ごしておりました。

**品末副牧師:** テネシー州のサザン・アドベンチスト大学で神学を勉強しておりました。

いつどのようにしてイエス様を受け入れましたか？

**中川牧師:** わたしが 15 歳の時に岩橋孝牧師からバプテスマを受けました。

**睦美夫人:** 両親が教会員で、わたしは北浦三育中学校の時に、バプテスマを受けました。

**品末副牧師:** バプテスマを受けたのは 2004 年 1 月 10 日です。が、これは非常に難しい質問ですね…。ヨハネによる福音書 3 章 8 節と『希望への光』750 ページ 5 段落目を答えとさせていただけられないでしょうか。

どんなきっかけで牧師になったのですか？

**中川牧師:** ニューボールドの神学生たちが霊的な面でわたしに大きな影響力を与えたように思います。特に毎朝授業が始まる前に、神学生たちが代わるに語ったメッセージがとても心に響きました。

**品末副牧師:** 前主任牧師が帰国することになり、後任者も未定だったことから、副牧師として任命されました。



We interviewed Pastor Nakagawa, Associate Pastor Shinasue and Mrs. Mutsumi who came to CJACC in the Summer of 2016.

Please introduce yourself and your family.

**Pastor Nakagawa:** I was born to be the third son of the Nakagawa family and spent my childhood in Kyoto. I met my wife at an Adventist High School in Chiba. Though I hardly had any chance to talk with her, we got to know each other by writing while I was at Newbold College in England, and were married on August 25, 1985. My only son, Ryo, was born in July, 1986. Currently he got a job in Japan, and enjoys working there.

**Mrs. Mutsumi:** I'm Mutsumi Nakagawa. I was named by Pastor Yukio Yokomiz, and born in Aizuwakamatsu, Fukushima. I have one elder sister and 91 year old parents.

**Associate Pastor Shinasue:** The Shinasue Family consists of five members: My father, mother, grandmother, younger sister, and I. We live in Yokohama. My father works at JUC, and my mother at Shalom Yokohama. My grandmother has been living with us since this past year. My younger sister is going to be graduating from University this coming March, and is planning to work at Saniku Foods.

What were you doing before you came to CJACC?

**Pastor Nakagawa:** Before coming to LA, I worked for the Toronto Japanese Seventh-day Adventist Church in Canada for 14 years. I was responsible for only one Church and preached almost every Sabbath. Because there were no separate services in Japanese and English like here, I had to write down my sermon in those two languages for my interpreter.

**Mrs. Mutsumi:** I was running around every day with my husband for the Toronto Japanese Church.

**A. Pastor Shinasue:** I was studying Theology at Southern Adventist University in TN.

How did you accept Jesus?

**Pastor Nakagawa:** I was baptized by Pastor Tim Iwahashi when I was 15 years old.

**Mrs. Mutsumi:** I was influenced by the devoted spirits of my parents and was baptized when I was studying at an Adventist school in Kitaura.

**A. Pastor Shinasue:** I was baptized in January 10, 2004; however, this actually is a hard question to answer. I would like to refer to John 3:8 and The Desire of Ages 172.3 as my answer.

How did you become a Pastor?

**Pastor Nakagawa:** The spirit of theology students at Newbold influenced my life to a great extent. I was especially touched by the short messages they spoke during morning service.

**A. Pastor Shinasue:** Our former senior pastor had to go back to Japan, but we had no successor yet; thus, I was appointed to be the Associate Pastor.

How did you become a wife of a Pastor?

**Mrs. Mutsumi:** I had a spiritual experience with the Lord telling me that I would marry a pastor long before our marriage.

Who has influenced you the most in your life?

**Pastor Nakagawa:** It was my Newbold teacher, Dr. Peter van Bemmel. He taught me theology very earnestly, apparently expecting his students all to become pastors in the future. He truly helped me to like teaching the Bible.

# 新任牧師と副牧師のご紹介

どんなきっかけで牧師夫人になったのですか？

睦美夫人: 同級生だった主人と再会数年も前に、幻で牧師と結婚すると示された経験があります。

人生で一番影響を受けた人は誰ですか？どのような影響を受けたかも教えてください。

中川牧師: 当時ニューボールドで教鞭を取っていた Peter van Bemmelen 先生でした。その先生は生徒一人一人が将来牧師になることを期待しているかのように、全身全霊を尽くして聖書を教えてくださいました。わたしはその先生のおかげで聖書を教えるのが好きになりました。

睦美夫人: わたしの母です。母は明るく温かく、祈りの人です。早朝からイエス様と語り、祈りを献げている姿がいつも脳裏にあります。

品末副牧師: 父親だと思います。性格が似ています。

一番好きな聖句を教えてください。

中川牧師: イザヤ書 46:1

睦美夫人: ペリピ 3:20 しかし、わたしたちの国籍は天にある。そこから、救主、主イエス・キリストのこられるのを、わたしたちは待ち望んでいる。

品末副牧師: 「互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる」(ヨハネによる福音書 13章 35節)。

趣味は？お休みの日はどう過ごされますか？

中川牧師: 聖書の勉強と料理です。

睦美夫人: 読書と、人をもてなすことです。休みの日は手紙やメールの返事書き、食料品の買い出しなどしております。

品末副牧師: 数ヶ月前からクライミングにハマっております。

好きな食べ物、やめられないものはなんですか？

中川牧師: 麺類とマンゴです。

睦美夫人: 麺類、マンゴ、コンニャク、スイカです。

品末副牧師: 好きな食べ物は、餃子、マカロニグラタン、カレーです。やめられないことは二度寝です。

CJACC の印象、それから CJACC でどのような伝道活動を行いたいですか？

中川牧師: とても親切な教会だと思います。わたしはこの教会でバイブルスタディができる信徒を育成していきたいと願っております。

睦美夫人: 皆さんが明るく楽しくのびのびと教会で過ごしておられる姿を拝見し、元気をいただいております。

品末副牧師: 家族主体の温かい集会という印象を受けました。伝道をするにあたって、スモールグループを大切にしていけたらと思います。

教会員、長期欠席者にメッセージがあれば、お願いいたします。

中川牧師: わたしは主イエスがまもなくお出でになることを信じています。皆様には是非ともその備えをしていただきたいと願います。

睦美夫人: 年長の方から青年、子供さんへと信仰が継承されていて、素晴らしいと思います。皆様それぞれがご自分の賜物を生かして、生き生きと喜びを持って、ご奉仕しておられるお姿に感銘を受けております。皆様とお会いでき、信仰のお交わりができますことを神様に心から感謝しております。英語は余り話せませんが、どうぞ話かけて下さい。これからもよろしくお願いいたします。

品末副牧師: いつも私のことを気にかけて下さり感謝しております。何かお役に立てることがあれば、いつでも仰ってください。よろしくお願いいたします。

Mrs. Mutsumi: It is my mother who has spiritually influenced my life. She is always happy and kind, spending a lot of time in prayer. I remember she would talk with Jesus early in the morning.

A. Pastor Shinasue: My father, I believe. We think alike.

What is your favorite Bible Verse?

Pastor Nakagawa: Isaiah 46:1

Mrs. Mutsumi: For our citizenship is in heaven, from which we also eagerly wait for the Savior, the Lord Jesus Christ. (Philippians 3:20)

A. Pastor Shinasue: "By this all people will know that you are my disciples, if you have love for one another" (John 13:35).

What do you do during holidays?

Pastor Nakagawa: Bible study and cooking.

Mrs. Mutsumi: My hobbies are reading books and caring for people. When I have days off, I write letters and email, and go shopping.

A. Pastor Shinasue: I have been obsessed with indoor climbing for the last several months.

What is your favorite food?

Pastor Nakagawa: Noodles and mango.

Mrs. Mutsumi: I love noodles, mangoes, konjac and watermelon.

A. Pastor Shinasue: My favorites are gyoza, macaroni gratin, and (Japanese, Indian, Thai, whatever) curry.

What is the impression about CJACC and what would you like to do for mission?

Pastor Nakagawa: CJACC is a very friendly church. I would like to train many members at the church to become Bible workers to teach the Bible.

Mrs. Mutsumi: I love beautiful smiles of the congregation, which gives me a lot of strength.

A. Pastor Shinasue: I got the impression of a family based warm congregation. I would like to put more emphasis on the small groups as we continue to strive on our evangelistic efforts.

Please give us some message

Pastor Nakagawa: I believe that Jesus is coming soon. I pray that many of you be ready to meet Him at any time.

Mrs. Mutsumi: It's wonderful to see members succeed their beliefs to their next generation. I'm very impressed to know that they use their own talents to serve for the church. I give thanks to the Lord that He made the church a place of fellowship not only with Himself but with brothers and sisters. I don't speak English well, but please speak to me. God bless you.

A. Pastor Shinasue: Thanks always for your care for me. If there is anything I could do to help you, feel free to talk/call/text/FB/Line me anytime.



## Part 2: The Rocky Journey to 2016 By Dennis Hokama

### Introduction

As is explained in Part I, I am using Akira Kitabayashi's 1980 masters thesis, "A History of Church Growth Among the Japanese Believers of the Seventh-day Adventist Church," as the skeleton of this paper until 1980. Part I, dealt mainly with the historical background for the founding of the "Central Japanese-American Community Church" in 1946. Part II will deal with the events subsequent to that formal founding. Subsequent to 1980, besides my memory, I will be using The New Orion Chronicles, the Orion Monitor (orionmonitor.com), and church board minutes for documentation.

Despite the fact that the journey from 1946 to 2016 was very rocky at times. True harmony can only be achieved by embracing and owning all of our historical journey.

### The Founding

On January 26, 1946, the church entity that now calls itself "Central Japanese-American Community Church," (CJACC2) came into existence as the Los Angeles (Central3) SDA Japanese church (LACJ). It had 50 charter members, and their minister was Elder Alfred T. Okohira. They were at that time meeting as a company in the chapel of the White Memorial Hospital.

### The Eagle Street Era Begins

The LACJ's Eagle Street era technically began on July 1, 1949 with the purchase of the property at 3010 Eagle Street in East Los Angeles from the Los Angeles Lutheran church. The purchase price was \$30,000, and membership had grown to 150. The down payment is not specified, but the subsequent mortgage was paid by a church building fund that was subsidized by the SC Conference, dollar-for-dollar.

The move-in date was August, 1949. By that date, Elder Sakae Kubo had arrived from his assignment in Hawaii to minister to the English speaking congregation, which allowed Elder Okohira to concentrate on the Japanese speaking side.

Thus, by the beginning of the Eagle Street era, LACJ had both an English and Japanese speaking minister, and a dual congregation. It has never deviated from this practice, though many intense internal battles have been fought over the necessity of maintaining this dual ministry and congregation.

In retrospect, that dual congregation has been the key to its survival because it kept the succeeding generations loyal to the Japanese church despite the fact that they no longer needed the Japanese speaking service. The verdict of history is that all ethnic churches that did not fight the good fight to keep dual congregations viable, either perished with the passing of their "Isseis," or needed a constant influx of new immigrants to stay alive.

In 1950, the church purchased two homes adjoining their property for \$9,000. On the Sabbath afternoon of November 24, 1951, at 3:00 p.m. there was a dedication service commemorating the paying off the mortgage. On this Thanksgiving Sabbath afternoon program, some of the participants included Dr. James Hara, who gave a history of the church, and Elder B.P. Hoffman, who offered the dedicatory prayer.

## 第二部：1946年までの長く曲がりくねった道 デニス外間

### 序章

パートIにて説明したとおり、私は1980年に書かれた北林あきら長老の論文「セブンスデーアドベンチスト日本人信徒教会成長の歴史」をもとに1980年までの教会成長を書きました。パートIは、1946年に創立された「中央日本人コミュニティ教会」の歴史的背景について書きました。パートIIは創立後に起きた様々な事柄について述べたいと思います。1980年以降は、私の記憶の他、ザ・ニュー・オリオン・コロニクル、オリオン・モニター、教会理事会議録などを資料に書きました。

1946年から2016年までの過程には不安定な時期もありました。真の調和(ハーモニー)とは自分たちの歴史的行路全てを受け入れることによりのみ可能なことなのです。

### 設立

今日存在するロサンゼルス中央日本人コミュニティ教会(CJACC)は、1946年1月26日、ロサンゼルス(中央)セブンスデーアドベンチスト日本人教会(LACJ)として始まりました。当初50名の創立メンバーがおり、牧師はアルフレッド・T・オコヒラでした。当時は、ホワイ・メモリアル病院のチャペルで集会をもっていました。イーグル・ストリート時代の始まり

(LACJ)のイーグル・ストリート時代は、ロサンゼルスルーテル教会からイースト・ロサンゼルス3010イーグル・ストリートの土地を購入した1949年7月1日から始まりました。値段は3万ドルで、教会員は150人にまで増えました。頭金の詳細はわかりませんが、残りのローン返済額は南カルフォルニア教区から半々の助成金を受けながら、教会建設基金によって支払われました。

教会の引越し日は1949年の8月でした。ハワイの任務地からサカエ・クボ牧師が英語部のために転会してこられました。それにより、オコヒラ牧師は、日本語部に専念することができるようになりました。

このように、イーグル・ストリート時代の初めから、LACJは英語部と日本語部二言語での集会があり、それぞれに牧師がいました。この二言語の集会を維持する必要性について熾烈な内部論争は度々ありましたが、二言語制の方針が変わることはありませんでした。

今振り返って見ると、二言語の集会があったからこそ生き残れたのです。なぜなら日本語の集会を必要としないにもかかわらず、日本人教会に忠実な次世代の教会員を確保することができたからです。歴史的に見て、二言語制の集会を維持する努力をしなかったすべての民族教会は「一世」の世代が亡くなるに従い消滅するか、存続し続けるために新移民の安定した流入が必要となりました。

1950年、教会は、地所に隣接する2件の家を9千ドルで購入しました。1951年11月24日安息日の午後3時、ローン返済終了を記念し献辞式が行われました。この感謝祭の安息日の午後のプログラムでは、ジェームス・ハラ医師による教会の歴史の紹介や、B・P・ホフマン牧師による献辞式の祈りが捧げられました。

# In Loving Memory of Uncle John King



Our beloved Uncle John King passed away last October, 2016. He had a special relationship with the children in our church. Darlene Mizumoto, Children's Church Leader, asked them to share some of their favorite memories of Uncle John.

Zuzu – "Uncle John was really funny and he always did weird stuff that made me laugh. He used to tease me and started to call me "Petals" – which I liked."

Group of kids – "He liked being around us kids, and we liked being around him."

Zuzu – "When I think about Uncle John, I especially think about hiking because he loved to hike. That's what he would talk about *all* the time."

Natalie – "We're sad that he died."

John – [nod in agreement with a sad face]

Natalie - We miss him carrying us all around and doing fun stuff with us.

John – [nod in agreement with a sad face]

Natalie - When we see him, he would swing us, pull us, push us, and lift us up.

John – [nod in agreement with a happy face]

Natalie – "John wasn't scared of him."

John – "He played with us."

Natalie – "We got to climb on him, and pull his beard all the time."

John – "...and he made funny faces."

Natalie – "Uncle John was like a jungle gym!"

John – "Jungle John!"



Liam – "I remember that Uncle John's jokes were VERY funny! He was always playful - like a kid. I will always remember the Easter sermon that Uncle John gave at church one year. Hearing him reflect about the way he communed with God in nature was cool."

Sammie – "Uncle John loved to eat those chocolate covered dusted almonds in the green container! Every time I see those, I think of Uncle John. He also loved birds and wind chimes, but what I miss the most are his silly jokes."

Group of kids – "Uncle John gave us "high-fives" on the way to Children's Church! His voice kind of echoed. It was kind of loud. And low."

Sammie – "Oh yeah... I just remembered... he loves dark chocolate cake!"

Kirk – "...and he couldn't stop eating ice-cream."

Kirk – "Did you know that Uncle John had a secret stash of his own food at his house? No one was allowed to eat it. Just him."

Sammie – "The cat who didn't like ANYBODY liked Uncle John!"

Group of kids – "He built a cage for birds. He had a salt-water swimming pool."

Kirk – "We used to eat potluck with Uncle John. We miss that. [Even though he would always read the newspaper during potluck!]"

Group of kids – "It was fun to pat his belly! He fixed my goggles. We laughed a lot.

Group of kids – "We can't wait to see him again in heaven."

*Kids who participated in the interview: Zuzu, Liam, Natalie, John, Sammie, Kirk, Leo, Lucas, Mika.*

# ジョンおじさんの思い出

私たちの親愛なるジョン・キングおじさんが、2016年の10月にお亡くなりになりました。ジョンおじさんは、私たちの教会の子供たちとともにユニークな関係を築いていました。チルドレンチャーチのリーダー、ダーリン・ミズモトさんが子供たちにジョンおじさんの思い出をインタビューしました。

ズズ「ジョンおじさんは本当におもしろかったです。彼はいつも私が笑っちゃうような変なことをしていました。彼はよく私をからかったり、私を「花びら」って呼んだりしました」

子供一同「ジョンおじさんは子供たちと一緒にいるのが好きだったし、私たちも彼と一緒にいるのが好きでした」

ズズ「ジョンおじさんの事を考える時、特にハイキングを思い出します。彼はハイキングが好きでしたから。彼はいつもハイキングについて話していました」



ナタリー「ジョンおじさんが亡くなったことは本当に悲しいです」

ジョン(悲しそうな顔でうなづく)

ナタリー「私たちを抱っこしたり、楽しいことをしてくれたことが懐かしいです」

ジョン(悲しそうな顔でうなづく)

ナタリー「ジョンおじさんはよく私たちをブランコしたり、押ししたり引っ張ったり、持ち上げたりしました」

ジョン(笑顔でうなづく)

ナタリー「ジョン(弟)はジョンおじさんを怖がりませんでした」

ジョン「彼は僕たちと遊んでくれました」

ナタリー「私たちは彼によじ登って、よく髭を引っ張っていました」

ジョン「そしてよく面白い顔をしました」

ナタリー「ジョンおじさんは、ジャングルジムのようにでした！」

ジョン「ジャングル・ジョン！」

リアム「僕は、ジョンおじさんのジョークがとても面白かったのを思い出します！彼は子供のようにとても陽気でした。イースターにジョンおじさんがお説教をしたのを思い出します。彼が自然の中で神様と交わるという事はクールだと思いました」

サミー「ジョンおじさんは、緑の箱に入ったアーモンドのかかったチョコレートが大好きでした。このチョコをみるとジョンおじさんを思い出します。彼は鳥や風鈴も好きでした。でも一番懐かしいのは、彼の馬鹿馬鹿しい冗談です。」

子供一同「ジョンおじさんは、いつもチルドレンチャーチに行くときにハイタッチをしてくれました！彼の声は響いて、大きくて、低かったです」

サミー「そうでしたね、彼はダークチョコレートケーキが好きでした！」

カーク「それにアイスクリームを食べるのをやめられませんでした」

カーク「ジョンおじさんは家に自分の食べ物の隠し場所があるって知ってた？それは誰も食べちゃいけないって、彼だけのものでした」

サミー「猫はジョンおじさん以外誰も好きじゃありませんでした」

子供一同「彼は鳥小屋を作りました。塩水のプールも持っていました」

カーク「僕たちはよくジョンおじさんと一緒にご飯を食べていました。」

それが懐かしいです。彼はよくポトラックの時新聞を読んでいましたけど！」

子供一同「彼のお腹を軽くたたくのが楽しかったです！

私のゴーグルを直してくれました。たくさん一緒に笑いました」

子供一同「天国で再開するのが待ちきれません」



インタビューに参加した子供たち:ズズ、リアム、ナタリー、ジョン、サミー、カーク、レオ、ルカ、ミカ

## ANNOUNCEMENTS

---

### **Kids and Youth Afternoon**

**Saturday, July 15 at 4:00pm-7:00pm**

King's Residence: 245 South Siesta Ave, La Puente, CA 91746

We invite kids from Kindergarten through Youth to attend a swim party at the King's house. This will be a time for the younger generation to spend time together and enjoy a warm summer day! We welcome our kids to invite their friends as well. Dinner will be provided. For more information, please contact the Hays or Melissa Hokama.

### **Generation Change – Dave Ramsey's FPU for Teenagers**

**Starting Saturday, July 29 at 9:30am for 9 consecutive weeks**

Generation Change is an all-new suite of Bible studies designed to lead teens to a better understanding of God, themselves and their money—and how it all works together. They will be equipped with biblical principles to BE who God created them to be, DO more with their money, and GO out into the world ready to write their story. For more information, please contact Melissa Hokama or Maki Vance.

### **Beach Vespers**

**Saturday, August 19 at 4:00pm at Bolsa Chica Beach**

It's our annual beach vespers! It's always fun to spend time with our church family. We will have a worship and dinner. Please join us for this fun event!

### **Keiro No Hi Luncheon**

**Sunday, September 17 at 12:00pm**

Come celebrate our seniors at our annual Keiro No Hi Luncheon. For more information, please contact Patty Hokama.

インターネットで献金ができます! ONLINE GIVING IS AVAILABLE!

Tithe and donate to your ministry of choice by using your Visa, Mastercard, Discover, or Debit Card.

Please visit our website at [www.centraljapanese.org](http://www.centraljapanese.org) and click the "TITHE AND DONATE ONLINE" tab.

#### **Weekly/Monthly/Quarterly Events**

- |  |                 |
|--|-----------------|
| * Japanese Language Ukulele Group        | Tues 10am-11am  |
| * Japanese Language Bible Studies        | Tues 11am-12pm  |
| * English Language Bible Studies         | Tues 7pm-8:30pm |
| * Japanese Language Prayer Meeting       | Wed 1pm         |
| * Total Life Seminar (Japanese Language) | Thu 10am-12pm   |
| * Family Fun Night                       | Monthly         |

If you would like to be added to our email list for announcements and updates, please contact Melissa at [news@centraljapanese.org](mailto:news@centraljapanese.org).

この教会のイベント情報などを e-メールでお送りしています。ご希望の方は以下のアドレスからメリッサ外間まで [news@centraljapanese.org](mailto:news@centraljapanese.org).





Central Japanese-American Community Church  
2113 East Villa Street  
Pasadena, CA 91107

日本人コミュニティー中央教会

visit us at our website:

[www.centraljapanese.org](http://www.centraljapanese.org)